

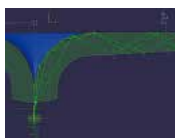
照明シミュレーションソフト「SPEOS」を活用した開発方法のご提案

**特長** シミュレーションのみならず、初期検討から改善検討、試作評価まで様々な要望に対応

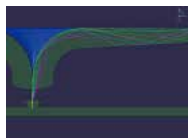
- CATIA の生データを使える為、検討からシミュレーションへスムーズに移行可能。
- 光源やマテリアルの設定変更が容易であり、拡散物への材料設定も可能。
- 樹脂部品の成立性検討を考慮した光学検討が可能な事より、リードタイムの短縮。

## 光路解析

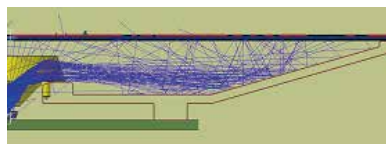
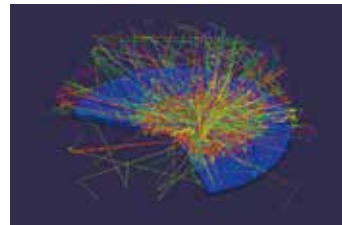
- ・3D 形状での確認により、複雑な光路検討が可能
- ・形状、マテリアル変更もリアルタイムで光路が更新



光線追跡



比較検討



## 輝度・照度解析

- ・光路解析では表せない、数値分布表示による光度結果解析

輝度…ディスプレイ等の明るさを表す時に使う

照度…モデルがどれだけ照らされているか等の明るさを表す時に使う

輝度・照度の考え方を複合的に捉えて検討・解析を行う



輝度



実測



照度



## SPEOS (Illumination/Photometry)

測光量の計算を行うモジュール  
擬似カラーによる分布マップ/受光センサー定義  
照度分布 (lux): 強度分布 (Cd): 輝度分布 (Cd/ m<sup>2</sup>)

- 光伝播・拡散現象を解析出来る  
3次元光学照明解析が可能
- 「CATIA V5」上で設計されたモデルデータに  
直接光学特性を与え解析を行う事が出来る  
「SPEOS CAA V5 Based」

